



今月の案内人
たつかわとしあき
立川敏明さん(前列右)ほか
篠目桜・ほたる同好会の皆さん



★ほたるの館(篠目町)



その27 篠目のホタル



篠目町の「ほたるの館」では、毎年5月20日ごろから6月10日ごろまで、ゲンジボタルを見ることが出来ます。この場所で飛び立つホタルの数は約700匹〜1000匹。水辺に座って眺めていると心なごむ「癒やし」の光を放ちます。

昭和58年、明治用水緑道沿いに「ホタル舎」ができ、飼育を始めま

したが、なかなかホタルが成虫にはなりませんでした。飼育メンバーが、水の具合や循環方法、飼育容器の種類を変えるなど試行錯誤を繰り返して10数年。平成7年によくホタルが飛び立つたのです。これを機会に、ホタル舎を「ほたるの館」とし、飼育を続けてきたメンバーを中心に「篠目桜・ほたる同好会」を設立し

ました。

ホタルは6月にクリーム色の卵を産卵し、ほぼ20日間でふ化。幼虫は9か月間、水中でえさのカワニナを食べ、脱皮を繰り返しながら成長します。そして翌年の4月に水中から陸に上がり、地中でさなぎとなり、それから約40日後にホタルは飛び立ちます。しかし、成虫の寿命は1週間とはかないものです。

ホタルは、その光の威力のため、外敵は少ないのですが、水環境の悪化などのため、安城で天然のゲンジボタルを見ることはできません。

わたしたちメンバーは毎日、水の管理などを続けながら飼育しています。しかし、ホタルが卵、幼虫、さなぎ、成虫となるまでの成長過程で、その数は次第に減っていきます。「何で死んでしまうのか」と考えながら、ホタルの生育環境を良くしようと、今も試行錯誤しています。

今年は寒さの影響のためか、ホタルが飛び立つのは例年より遅れそうです。ホタル鑑賞会は6月11日(日)まで開催します。時間帯は午後7時30分から8時30分が見ごろ。また、1年を通じてホタルの卵や幼虫など成育状況を観察できる機会もあります。問い合わせ▼篠目桜・ほたる同好会・立川敏明さん(☎75-3644)